

保護者 様

大阪府立中央聴覚支援学校
校 長 吉 田 伸 哉

出席停止について

平素より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが変更したことに伴い、学校保健安全法施行規則の改定が行われ、出席停止期間は裏面のおりとなりました。

感染症にかかった場合、本人の健康とともに他の幼児・児童・生徒への感染・流行防止のため、学校保健安全法に基づき出席停止とし、医師の診断による許可がでるまでは、ご家庭で休養していただくことになっております。

登校許可ができましたら、次の用紙にてお知らせください(保護者の方の記入で結構です)。

担当:保健室

キリトリ線

登校(許可)届

病 名	・インフルエンザ(型) ・風しん ・水痘 ・新型コロナウイルス感染症 ・感染性胃腸炎 ・流行性耳下腺炎 ・溶連菌感染症 ・その他()
診断された日	月 日()
登校を許可された日	月 日()
医療機関名 (電話または FAX 番号)	(電話または FAX 番号 -)

令和 年 月 日

(幼・小・中・高・専) 年(歳)

幼児児童生徒名 _____

保護者名 _____

児童生徒等がかかりやすい感染症一覧表

《参考文献:日本学校保健会「学校において予防すべき感染症の解説」2018年3月発行》

病名	主要症状	潜伏期間	出席停止期間
新型コロナウイルス感染症	咽頭痛、鼻汁、鼻閉、咳、倦怠感、発熱、筋肉痛、頭痛 (嗅覚、味覚障害があることもある)	2-7日	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
インフルエンザ	高熱、頭痛、悪寒、全身倦怠、関節痛、筋肉痛、鼻・のど・気管支の炎症、咳、鼻水	平均2日(1~4日)	発症した後、5日を経過し、かつ、熱が下がって2日を経過するまで(幼児は3日を経過するまで)
百日咳	発熱は少ない、 がんこで激しい咳(夜に多くでる) (コンコンと短く激しい咳が続く)	主に7-10日 (5-21日)	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹 (はしか)	鼻汁、目やに、発熱、発疹、 くしゃみ、粘膜のカタル症状	主に8-12日 (7-18日)	熱が下がって、 3日経過するまで
風疹 (3日ばしか)	発熱(軽度)、発疹、リンパ腺の腫れ	16-18日 (14-23日)	発疹が消えるまで
水痘 (みずぼうそう)	発熱(軽~中程度)、 発疹(紅斑)→水疱→膿疱 →かさぶた	主に14-16日	すべての発疹が かさぶたになるまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳の下からあごの下にかけての腫れ と圧痛(押すと痛む)	主に16-18日 (12-25日)	耳下腺、顎下腺または舌下腺 の腫脹が発現した後、5日 を経過し、かつ、全身状態が良 好になるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	高熱、のどの痛み、頭痛、 目やに、結膜の充血、涙、まぶしがる	2-14日	主な症状がなくなってから 2日経過するまで
流行性角結膜炎	結膜の充血、涙、目やに、まぶたの腫 れ、異物感 4日目くらいから瞳孔に点状の混濁	2-14日	感染の恐れが なくなるまで
急性出血性結膜炎	結膜の出血、充血、眼の痛み、涙、 目やに、まぶたの腫れ	EV70:平均24時間 CA24 v:2~3日	感染の恐れが なくなるまで
A群溶連菌咽頭炎 (溶連菌感染症)	発熱、のどの痛み、扁桃腺の肥大 頸部リンパ節炎	2-5日	適切な抗菌薬の治療後、 感染の恐れがなくなるま で
手足口病	発熱(1~3日)、 手・足・口に紅斑→水疱 (口の中に痛み)	3-6日	医師の許可による
ヘルパンギーナ	突発的な発熱(39℃以上) 咽頭痛 咽頭の発疹→水疱→潰瘍 夏~初秋に流行	3-6日 ウイルスは呼吸器からは1 ~2週間、便からは数週間 ~数ヶ月排出あり	全身状態がよく、感染の 恐れがなくなるまで
伝染性紅斑 (りんご病)	顔面紅斑、特に頬部の紅斑性発疹 四肢伸側のレース状・網目状紅斑	4-14日(-21日)	医師の許可による
感染性胃腸炎 (流行性嘔吐下痢症)	下痢、嘔吐	ノロウイルスは12-48時間 ロウウイルスは1-3日	下痢・嘔吐が消失し、感 染の恐れがなくなるまで
マイコプラズマ感染症	咳・発熱等のかぜ症状がゆっくり進 行、しつこい咳が3-4週間続く	2-3週間 (1-4週間)	症状が改善し、 全身状態が良くなるまで

「伝染性膿痂疹」(とびひ)については、症状によって出席停止になる場合もあります。